

別添 1

基本評価シート
様式

(千葉県 環境生活部自然保護課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定業務（ニホンジカ・イノシシ）		
	令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲業務（ニホンジカ・県中部区域）		
都道府県名	千葉県	担当者部・係名	環境生活部鳥獣対策班
担当者名		担当者連絡先	043(223)2936
捕獲実施事業者	一般社団法人千葉県猟友会 (認定を受けている)・ 受けていない)	予算額（※2）	95,402,000円 (イノシシ含む)
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	19,138,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
100頭	145頭	145%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
約48,700頭 (令和5年度末)	個体数を減少傾向にする 捕獲目標8,500頭以上/年度	未設定
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
(集計中) 頭	(集計中) 頭	(集計中) 頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

令和6年度ニホンジカ・キョン生息状況調査業務（糞粒調査、個体モニタリング調査） 令和6年度野生獣個体数推定業務（個体数推定）

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>千葉県におけるニホンジカの分布域は拡大傾向にあり、生息数、捕獲数ともに増加している。令和5年度の推定生息数は約48,700頭、捕獲数は8,893頭となり推定生息数は過去最高を記録した。また、ニホンジカによる農作物被害は、令和5年度の被害金額が約1,204.8万円、被害面積が16.8haと、依然として被害が大きい状況にある。</p> <p>このため、第5次第二種特定鳥獣管理計画（ニホンジカ）の目標である適正な生息数を目指して、既存の市町村による有害鳥獣捕獲事業に加え、県が実施主体となり指定管理鳥獣捕獲等事業を引き続き実施する。</p> <p>本事業では、ニホンジカの生息域の縮小または拡大防止を目的とし、生息域の外縁部において捕獲を行うこととする。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乗せした。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	<p>令和6年6月17日～令和7年1月17日 （うち、捕獲を行った期間は、令和6年8月1日～11月13日）</p>
実施区域	<p>市原市の一部（保護管理ユニット12、13、14、15、16） 大多喜町の一部（09、010）</p>  <p>Legend: <input checked="" type="checkbox"/> R6実施区域 <input checked="" type="checkbox"/> R6重点区域 <input type="checkbox"/> 千葉県市町村界</p> <p>Scale: 0 10 20 km</p>
関係機関との協力	<p>担当者会議等をとおり関係市町村と情報共有を図るとともに、わなの設置箇所の地元調整において関係市町村の協力を得て実施している。</p>
事業の捕獲目標	<p>（145%達成） $= \left(\frac{145 \text{ 実績値}}{100 \text{ 目標値}} \right)$</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p>

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価：捕獲目標 100 頭に対して捕獲実績は 145 頭（145%）であり、捕獲目標を達成した。
	改善点：次期計画では、今年度の捕獲実績や生息状況調査を参考に捕獲目標を設定するが、外縁部に近い場所での捕獲圧を高めるように工夫する必要がある。
【実施期間】	評価：100 日程度で捕獲作業を行う想定の中、8 月～11 月の期間にかけて 104 日の捕獲作業を実施し、捕獲目標を達成した。
	改善点：捕獲目標を達成するために必要な実施期間を設けて引き続き適切に期間を設定する。
【実施区域】	評価：ニホンジカの生息域の外縁部に実施区域が設けられており、分布拡大を防止するために有効である地域で捕獲が実施されたと考えられるが、成獣メスの撮影地点と 0.5 枚/日以上撮影がある地点が拡大傾向となった。
	改善点：ニホンジカの生息状況を勘案し、引き続き適切に区域を設定する必要があるとともに、外縁部の生息密度を低減するよう、重点的に捕獲を実施する区域を設定する必要がある。
【捕獲手法】	評価：くくりわな 220 基を用いて捕獲を実施した。機動性の高いくくりわなを用い、適宜移設することで目標捕獲数を達成した。捕獲効率（CPUE）は過去の事業と比較しても高かったことから、効果的に捕獲を行うことができた。
	改善点：引き続き適切な手法を選定するとともに、成獣の捕獲数を伸ばし、かつメスの割合が高くなるように工夫する必要がある。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：市原市で 2 地区、大多喜町で 1 地区の 3 班体制で実施した。捕獲規模に対し、十分な体制で実施した。
	改善点：引き続き必要な実施体制を確保する。
【個体処分】	評価：焼却、埋設、自家消費により適切に処分した。
	改善点：引き続き適切に処分する。
【環境配慮】	評価：周囲からの苦情もなく適切に実施した。
	改善点：引き続き環境に配慮して実施する。
【安全管理】	評価：わなの設置及び巡回は 2 名以上で 1 組体制とし、わな本体及び周辺に注意喚起の看板を設置することで、捕獲作業員及び実施区域周

	辺の利用者の安全に配慮し、無事故で作業を完了した。
	改善点：引き続き安全管理に配慮して実施する。
<p>3. 全体評価</p> <p>3.1. 実施区域の評価</p> <p>実施区域の隣接地域で実施した自動撮影カメラ調査（図1）では、実施区域の北側で成獣メスが撮影されたユニットはNG1（長柄町）とI9（市原市）、G2（長南町）だった。また、実施区域外で撮影された成獣メスの撮影頻度と成獣メス撮影頻度比率は、実施区域内と比較して低い地点が多いことから（表1）、本事業で選定した実施区域はニホンジカ生息域の外縁部に近い場所であると考えられた。一方で、成獣メスの撮影地点と0.5枚/日以上撮影がある地点が拡大傾向にあり、今後の動向を注視する必要がある。分布拡大の防止に貢献する捕獲を実施するためには、ニホンジカ生息域の外縁部での捕獲が重要となることから、モニタリングを継続し、今後も適切な実施区域を設定した上で本事業を行う。</p> <p>3.2. 捕獲の評価</p> <p>ユニットごとの捕獲結果を表3に示した。本事業で捕獲を実施したユニット（I2~I6、O9、O10）では、O10で最大34頭を捕獲した。また、参考値として、各ユニットの令和5年度の有害捕獲及び狩猟の捕獲実績を集計した。これらの捕獲実績に基づくと、ユニットごとの全捕獲数に対する令和6年度の本事業の割合は33.9~90%であり、本事業の実施により従来の捕獲が進んでいない地域で捕獲を強化することが出来た。</p> <p>一方で、本事業における令和6年度のくくりわなCPUEは令和5年度から減少したものの依然高い値である（表2）ことから、捕獲圧は不足している状況と考えられた。そのため、ユニット全体の捕獲目標の見直しを図り、許可捕獲等の推進と指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を継続することで捕獲目標の達成を図り、分布拡大防止に向けた取組をより一層進めていくことが必要である。</p>	

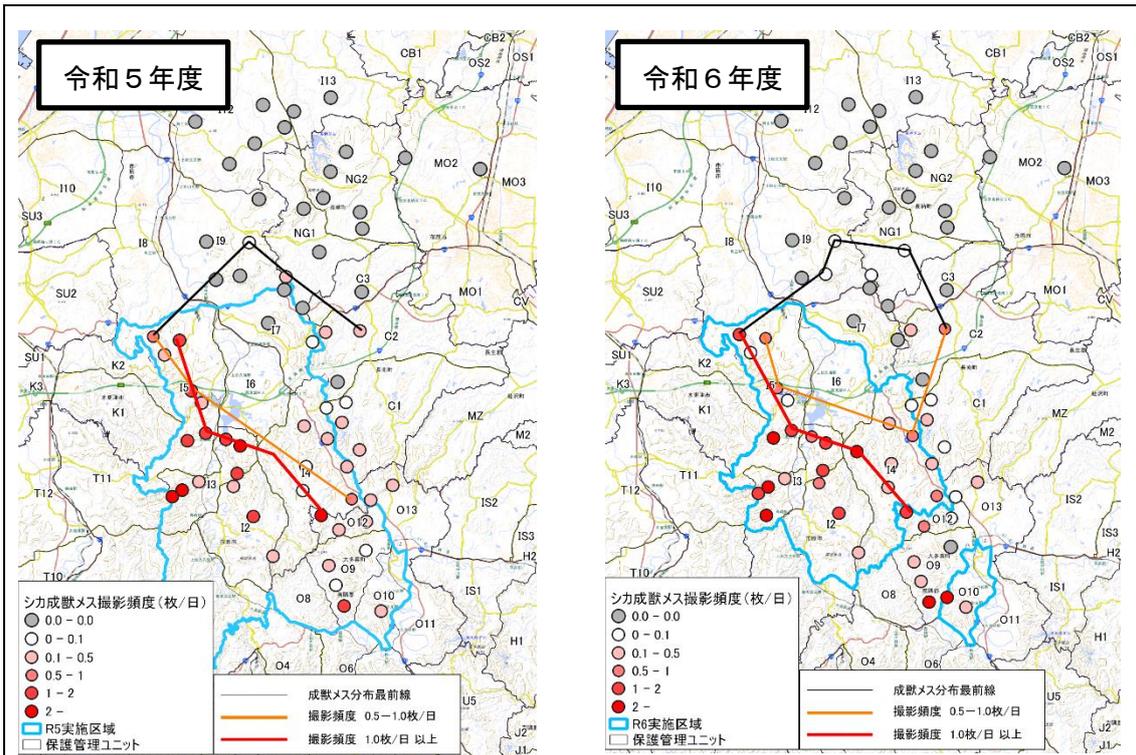


図1 令和5年および令和6年の成獣メス撮影頻度

※1月～12月の平均

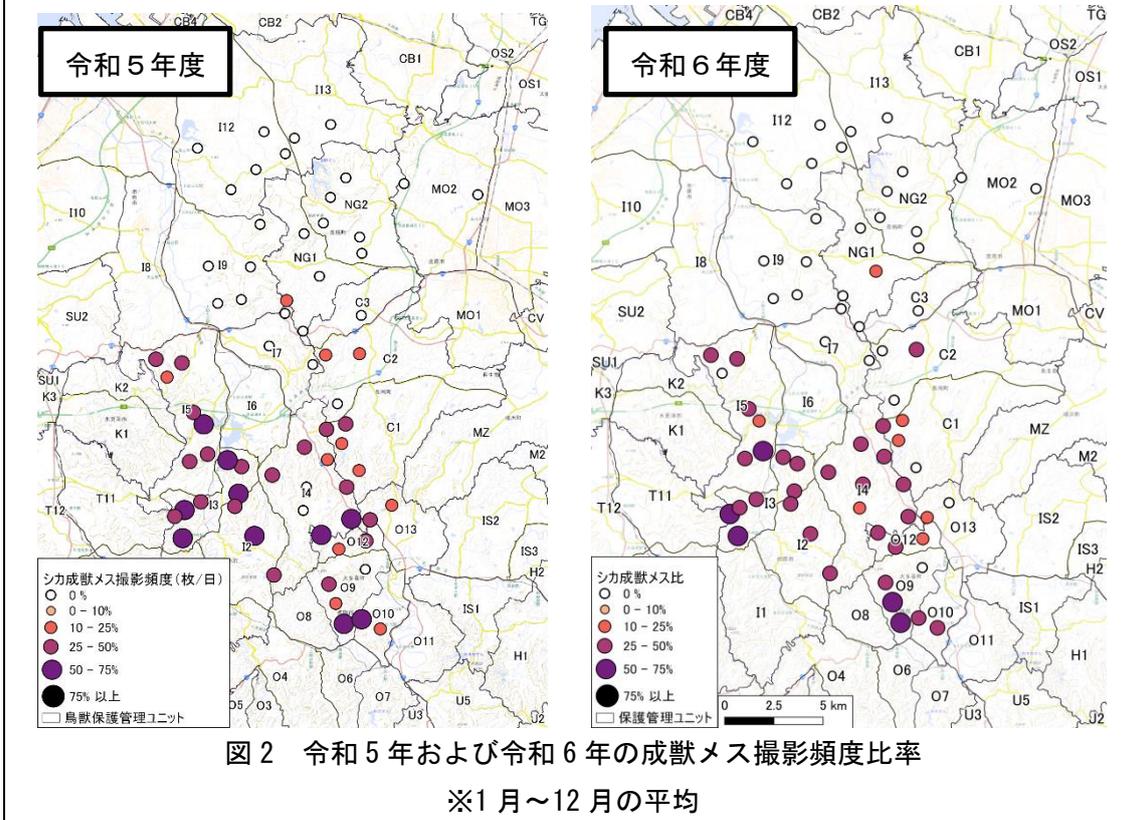


図2 令和5年および令和6年の成獣メス撮影頻度比率

※1月～12月の平均

表1 ユニット別の撮影頻度 (枚/日)

市町村名	ユニット	シカ撮影頻度	成獣メス撮影頻度	市町村名	ユニット	シカ撮影頻度	成獣メス撮影頻度
市原市	I7	0.09	0.00	市原市	I2	2.58	1.17
	I9	0.17	0.01		I3	3.41	1.55
	I12	0.00	0.00		I4	1.80	0.59
	I13	0.00	0.00		I5	2.51	1.07
大多喜町	O12	2.43	0.83		大多喜町	O9	1.30
大多喜町	O13	2.81	0.23	大多喜町	O10	5.31	2.20
	茂原市	MO2	0.00	0.00			
長柄市	NG1	0.28	0.02				
	NG2	0.00	0.00				
長南町	C1	0.69	0.06				
	C2	1.09	0.23				
	C3	0.08	0.00				

※左表は実施区域周辺ユニット (令和6年1月~12月集計)

※右表は令和6年度捕獲実施区域 (令和6年1月~12月集計)

表2 平成27~令和6年度のわな捕獲の作業及び捕獲状況

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
わな数	65	120	120	160	160	200	210	297	200	237
わな日	1,936	10,878	10,278	16,646	16,078	25,046	21,582	22,356	20,643	22,551
空はじき	0	102	38	180	148	134	459	542	440	401
空はじき率	0.00	9.38	3.70	10.81	9.21	5.35	21.27	24.24	21.31	17.78
目標捕獲数	-	20	24	55	60	120	100	100	100	100
捕獲数	4	47	17	61	79	140	107	119	155	145
成獣メス割合(%)	25.0	34.0	52.9	27.9	19.0	35.7	34.6	38.7	17.4	25.5
幼獣割合(%)	0.0	19.1	0.0	13.1	21.5	14.3	14.0	21.0	55.5	27.6
CPUE	2.07	4.32	1.65	3.66	4.91	5.59	4.96	5.32	7.51	6.43

※平成27年度は目標捕獲数を設定しなかった

※平成27~28年度は主に冬期に捕獲を実施したが、平成29年度以降は夏期から秋期にかけて捕獲を行った

表3 令和5・6年度のユニット別の捕獲結果

市町	ユニット	捕獲数				指定管理 捕獲割合 (見込み) (%)
		R6 本事業	R5 有害捕獲数	R5 狩猟捕獲数	合計 (見込み)	
市原市	I1	0	31	43	74	0.0
	I2	19	32	5	56	33.9
	I3	7	4	0	11	63.6
	I4	31	26	9	66	47.0
	I5	27	9	19	55	49.1
	I6	27	3	0	30	90.0
	I7	0	18	0	18	0.0
大多喜町	O8	0	39	8	47	0.0
	O9	0	37	0	37	0.0
	O10	34	5	0	39	87.2
	O12	0	19	0	19	0.0

※1：I1、I7、O8、O9、O12は本事業ではわなを設置していない

※指定管理捕獲割合は「本事業の捕獲数/捕獲数合計×100」で算出

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

特定計画では、ニホンジカ地域個体群の適正規模への抑制及び安定的な維持、農林業被害の軽減、生態系への影響の軽減を目標とし、管理ユニット毎に設定した目標密度を目指して個体数管理を実施している。

自動撮影カメラによる分布調査で広い範囲で成獣メスが確認されたことから、分布外縁部における当該地においてニホンジカが繁殖及び定着しており、捕獲の重要性が示唆された。しかし、当該地では他の捕獲（被害防止の目的での捕獲、狩猟）があまり実施されていない実情があることから、特定計画の目標であるニホンジカの分布拡大防止及び個体数低減を図る上では、分布外縁部において捕獲を行う本事業が果たす役割は大きいと考えられる。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input checked="" type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 （体重 頭胴長 後足長 オス角尖数 メス妊娠状況）	
③目撃数	<input type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
GPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> GPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果 (必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲 実施していない

外業の人日数総数※1 : 人日

事前調査人日数概数※2 : 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数 : 人日

項目	令和 年 (事業年度の値)	令和 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (銃猟) のべ人日数	人日	人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: 事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 日数の合計

※2: 事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1 : 不明 人日

事前調査人日数概数※2 : 不明 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数 : 不明 人日

項目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (わな猟) わなの稼働総数 (わな基×日 数)	22,551 基日	20,643 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: 事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 人日数の合計

※2: 事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	平成 年 (事業年度の値)	平成 年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	145 頭	155 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	49.0%	17.4%	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	27.6%	55.48%	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和 6 年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	145 頭	22,551 基日	0.0064 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 不明 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 0 個体（自家消費を除く）

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

捕獲個体の写真（通し番号をスプレー）と、捕獲個体の尾の現物をもって、捕獲実施されたことを確認している。

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。